

①益田翔陽高校の2年生が農林大学校林業科で実習体験をしました！

8月23日(火)に益田翔陽高校の2年生5名が飯南町にある島根県立農林大学校林業科を訪問し、施設見学と実習体験をしました。

午前中は学校紹介を受けた後、ハーベスタシミュレータによるVR体験を行った他、学生寮や林業研修館等の施設を見学しました。

ハーベスタシミュレータでは実機と同じ手元の操作レバーで伐倒作業を体験しましたが、生徒たちはゲーム感覚で見事に操作していました。

午後からは農林大講師の指導と在校生の補助の下、チェーンソー体験、高性能林業機械(フォワーダ・スイングヤーダ)操作体験、ドローン操作体験を行いました。

チェーンソー体験では機械の扱いに苦戦しながらも徐々にコツを掴み、伐倒練習機に立てた丸太を切る作業に汗を流しました。

また、近年、林業でも導入が進んでいるドローンの操作では、手元のタブレットでカメラ映像を確認しながら見事にドローンを飛ばしました。

今回の実習体験を通じて、生徒たちは林業や農林大に関心を深めた様子でした。



ハーベスタシミュレータVR体験



チェーンソー体験



フォワーダ操作体験



ドローン操作体験

②林業普及指導員中国・四国ブロックシンポジウムで当事務所普及員が発表しました！

8月31日(水)にオンラインで令和4年度林業普及指導員中国・四国ブロックシンポジウムが開催され、島根県代表として林業普及第二課の庄司(筆者)が高校生の林業学習の取り組みについて発表しました。

島根県では令和2年度から林業の担い手確保の取り組みの一環で、高校生を対象とした林業学習を強化しており、令和3年度は益田高校、益田翔陽高校、津和野高校の3校で延べ83名の生徒を対象に授業を開催しました。授業に参加された生徒の中には農林大林業科や林業就業を希望する方もおられ、着実に授業の成果が出始めています。

発表結果は島根県は惜しくも優秀賞で、最優秀賞には愛媛県の森林経営管理体制の構築に向けた取り組みが選ばれました。

今後も林業事業者や製材所の方々の協力も得て、より多くの生徒に林業に関心をもってもらえるよう、魅力ある授業を開催していきます。



治山模型を使った座学授業



架線集材現場見学